

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材 42483002
(歯科セラミックス用接着材料 70815000) (歯科金属用接着材料 70921000)
(歯科用知覚過敏抑制材料 70926000) (歯科用シーリング・コーティング材 70860000)

クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick 2

【禁忌・禁止】

- 本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状	組成
液体	モノマー(Bis-GMA、親水性アミド系モノマー、HEMA、リン酸エステル系モノマー：MDP®、多官能ウレタン系メタクリルモノマー、その他)、エタノール、精製水、フィラー(シリカ系マイクロフィラー)、光重合触媒、化学重合促進剤、安定剤、フッ化ナトリウム

【作動・動作原理等】

- 可視光線光エネルギーにより重合硬化します。
- 「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」とともに、可視光線光エネルギー及び酸化還元反応により重合硬化します。
- 「SA ルーティング® Multi」とともに、酸化還元反応により重合硬化します。
- 歯科用金属の表面改質を行った後に、レジン系材料とともにラジカル重合により硬化します。
- 「クリアフィル® DCアクティベーター」と混和後、デュアルキュア型又はセルフキュア型の支台築造材料とともに可視光線光エネルギー及び酸化還元反応により重合硬化します。
- 「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」と混和し、歯科用金属、及び歯科用セラミックスの表面改質を行った後に、レジン系材料とともにラジカル重合により硬化します。

【使用目的又は効果】

【使用目的】

- 象牙質を含む窩洞若しくは欠損又は人工歯冠等装置への接着に用いる。
- 歯科用セラミックスで作製した歯科修復物の接着に用いる。
- 金属製修復物の接着に用いる。
- 象牙質の知覚過敏の抑制に用いる。
- 象牙細管の封鎖、又は歯質と修復物、補綴物との界面の封鎖に用いる。

【使用用途】

- 光重合型の歯科充填用コンポジットレジンによる充填修復
- 光重合型の歯科充填用コンポジットレジンによる前装冠等の歯冠修復物の補修
- 歯科用ポストの表面処理
- デュアルキュア型又はセルフキュア型の歯科用支台築造材料、歯科用セメントによるポストの植立及び／又は支台築造
- 光重合型の歯科用支台築造材料による支台築造
- セメント接着における窩洞、及び支台歯の処理
- 露出根面等(実質欠損を殆ど含まない症状)の処置
- 知覚過敏の処置
- 間接修復法の前処理としての窩洞又は支台歯のシーリング・コーティング

【使用方法等】

併用する材料について

本品と混和して使用する製品は下記のとおりです。

- 歯科セラミックス用接着材料「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」
(医療機器承認番号：16300BZZ00085000)
- 歯科用象牙質接着材「クリアフィル® DCアクティベーター」
(医療機器認証番号：228ABBZX00066000)

特定の使用方法(使用方法D、F)において本品と併用する材料は次のとおりです。

使用方法については、下記製品の注意事項等情報(以下電子添文等)にしたがってください。

- 歯科用支台築造材料「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」(医療機器認証番号：223ABBZX00086000)
- 歯科接着用レジンセメント「SA ルーティング® Multi」(医療機器認証番号：230ABBZX00096000)

本品と併用するその他の材料は次のとおりです。

使用方法については、下記製品の電子添文等にしたがってください。

- リン酸エッチング材
 - 歯科用エッチング材(例えば「K エッチャント シリンジ」)
- コンポジットレジン
 - 光重合型の歯科充填用コンポジットレジン(例えば「クリアフィル® マジェスティ® ES-2」、「クリアフィル® マジェスティ® ES フロー」)
- 金属接着性プライマー
 - 歯科金属用接着材料(例えば「アロイ プライマー」)
- セラミックス処理材
 - 歯科セラミックス用接着材料(例えば「クリアフィル® セラミック プライマー プラス」)
- 色調遮蔽材料
 - 光重合型の歯科用色調遮蔽材料(例えば「クリアフィル® ST オペーカー」)
- ポスト
 - 歯科根管用ポスト成形品(例えば、「クリアフィル® AD ファイバーポスト II」)
- 支台築造材料
 - デュアルキュア型の歯科用支台築造材料(例えば「クリアフィル® DCコア ペースト」)
 - セルフキュア型の歯科用支台築造材料(例えば「クリアフィル® コア」)
 - 光重合型の歯科用支台築造材料(例えば「クリアフィル® フォトコア®」)
- 清掃材
 - 例えば、歯科セラミックス用接着材料「カタナ® クリーナー」
- 歯科用セメント
- 歯科用分離材

取扱説明書を必ずご参照ください

歯科重合用光照射器について

本品の重合に使用する歯科重合用光照射器は下記のとおりです。

- ・LED照射器：光源が青色LEDで発光スペクトルのピークトップが450～480nm
- ・ハロゲン照射器：有効波長域が400～515nm

本品への照射時間は下記のとおりです。光量については各照射器の電子添文等を確認してください。

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm ² 以上	5秒
LED照射器		800~1400mW/cm ²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm ² 以上	

「ペンキュアー 2000」(製造販売元：株式会社 モリタ製作所)の高出力モードの場合は3秒、標準モードは10秒照射してください。

使用方法A

下記用途での使用方法です。

1) 光重合型の歯科充填用コンポジットレジンによる充填修復

(1) 窩洞形成

齲蝕の有無を確認後、齲蝕検知液(例えば「カリエスディテクター」)等をガイドとしながら、感染象牙質を除去します。通法にしたがい窩洞形成、窩洞清掃、消毒を行います。

(2) 防湿、歯髄保護、充填準備

窩洞形成後、通法にしたがい防湿を行います。露髄部分や歯髄に著しく近接した場合には、ユージノールを含まない覆罩材又は歯髄保護材で歯髄保護を行います。必要に応じ、充填するコンポジットレジンのシェードを選択します。

(被着面に未切削エナメル質を含む場合は、未切削エナメル質面をリン酸エッチング材の電子添文等にしたがって、10秒間処理後、水洗、乾燥してください。また、本品は切削エナメル質に対して十分な接着力を有しますが、切削エナメル質面に対しても同様の処理が可能です。)

(3) ボンディング

本品を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で窩洞の壁面全体に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで窩洞全体を乾燥します。エアブローの圧力は窩洞の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

(4) 充填

コンポジットレジンを窩洞に充填後、歯科重合用光照射器にて所定の時間光照射し、硬化させます。コンポジットレジンの使用法は、当該品の電子添文等にしたがってください。硬化後、通法にしたがって仕上げ・研磨を行ってください。

使用方法B

下記用途での使用方法です。

2) 光重合型の歯科充填用コンポジットレジンによる前装冠等の歯冠修復物の補修

(1) 被着面の粗造化、酸処理

口腔内サンドブラスト、ダイヤモンドポイント等で被着面全体(歯科用陶材、シリカ系ガラスセラミックス、無機物フィラーを含むレジン系材料、金属、金属酸化物系セラミックス、歯質)を粗造化し、水洗、乾燥します。被着面をリン酸エッチング材の電子添文等にしたがって5秒間処理後、水洗、乾燥します。(非貴金属合金、金属酸化物系セラミックスには、リン酸エッチング処理は不要です。)必要に応じ、辺縁部にベベルを形成します。粗造化が困難な貴金属面に対しては、酸処理後に金属接着性プライマーを電子添文等にしたがい貴金属面に塗布してください。

被着面が歯質及び／又は金属酸化物系セラミックスのみの

場合は、シラン処理にセラミックス処理材を用いる場合の(3) ボンディングを実施してください。

被着面処理に本品と「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」の混和液を用いる場合

(2) 被着面処理及びボンディング

本品及び「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」を混和皿に一滴ずつ等量採取し、混和します。混和液を被着面全体にアプリケーションブラシ等で塗布します。塗布後は待ち時間なしで混和液が飛散ないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで被着面全体を乾燥します。エアブローの圧力は被着面の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい光照射を行い硬化させます。

(3) 充填

色調遮蔽材料及びコンポジットレジンの電子添文等にしたがってください。

シラン処理にセラミックス処理材を用いる場合

(2) シラン処理

セラミックス処理材を被着面の歯科用陶材、シリカ系ガラスセラミックス、無機物フィラーを含むレジン系材料に塗布し、しっかりと乾燥させます。セラミックス処理材の使用法は、当該品の電子添文等にしたがってください。

(3) ボンディング

本品を被着面全体に対してアプリケーションブラシ等で塗布し、塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで被着面全体を乾燥します。エアブローの圧力は被着面の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

(4) 充填

色調遮蔽材料及びコンポジットレジンの電子添文等にしたがってください。

使用方法C

下記用途での使用方法です。

3) 歯科用ポストの表面処理

グラスファイバーポストの場合

(グラスファイバーポストは損傷を避けるためサンドブラスト処理は行いません。)

(1) リン酸エッチング処理

ポスト表面全体にリン酸エッチング材を電子添文等にしたがい塗布し、5秒後に水洗、乾燥します。

(2) 表面処理

本品及び「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」を混和皿に一滴ずつ等量採取し、混和します。混和液をポスト表面全体にアプリケーションブラシ等で塗布し、マイルドなエアブローで液面が動かなくなるまでポスト表面全体をしっかりと乾燥させます。確実に乾燥させるため、エアブローは5秒以上行うようにしてください。

金属ポストの場合

(1) 表面の粗造化

ポストの電子添文等にしたがい、必要に応じて表面の粗造化を行います。

(2) 表面処理

本品をポスト表面全体にアプリケーションブラシ等で塗布し、マイルドなエアブローで液面が動かなくなるまでポスト表面全体をしっかりと乾燥させます。確実に乾燥させるため、エアブローは5秒以上行うようにしてください。

使用方法D

下記用途での使用方法です。

4) デュアルキュア型又はセルフキュア型の歯科用支台築造材料、歯科用セメントによるポストの植立及び／又は支台築造

(1) 窩洞形成

通法にしたがって、根管形成、根管充填を行った後、築造窩洞を形成し、清掃、防湿を行います。

(2) ポストの準備

適切な長さ及び太さのポストを選択し、形成した築造窩洞にポストを試適します。必要に応じて切断した後、エタノールを染み込ませたガーゼやワッテ等で拭き取ります。

(3) ポストの表面処理

使用する材料の電子添文等にしたがってポストの表面処理を行ってください。指定の処理がない場合は以下の方法で行うことができます。

グラスファイバーポストの場合

使用方法C又はセラミックス処理材の電子添文等にしたがって処理します。

金属ポストの場合

使用方法C又は金属接着性プライマーの電子添文等にしたがって処理します。

(4) ボンディング

通法にしたがい築造窩洞の清掃及び防湿を行います。

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」又は「SA ルーティング® Multi」を使用する場合

本品を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で築造窩洞に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで窩洞全体を乾燥します。築造窩洞内に残った余剰の本品は、ブローチ綿花又はペーパーポイント等で吸い取ります。その後、再度、エアブローでしっかりと乾燥させます。エアブローの圧力は窩洞の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」を使用する場合は、その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

その他の支台築造材料を使用する場合

本品及び「クリアフィル® DCアクティベーター」を混和皿に一滴ずつ等量採取し、混和します。混和後は90秒以内に混和液を被着面にアプリケーションブラシ等で塗布し、塗布後は待ち時間なしで、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで乾燥します。根管内に残った余剰の混和液は、ブローチ綿花又はペーパーポイント等で吸い取ります。その後、再度、エアブローでしっかりと乾燥させます。エアブローの圧力は窩洞の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。光照射しない場合、操作時間が短くなります。

その他の歯科用セメントを使用する場合

使用する材料の電子添文等にしたがってボンディング処理を行ってください。

(5) ポストの植立及び／又は支台築造

支台築造材料又は歯科用セメントの電子添文等にしたがってポストの植立及び／又は支台築造を行います。

「SA ルーティング® Multi」を用いてポストを植立する場合

ポストを植立後、溢れた余剰ペーストを残存菌冠やポストのヘッド部に薄く広げます。その後、使用する支台築造材料の電子添文等にしたがって支台築造を行います。

上記製品以外の歯科用セメントを用いて植立する場合

ポストを植立後、ポスト孔から溢れ出した余剰セメントを除去し歯面を露出させ、使用方法A (3) ボンディングを参考に処理を行います。その後、使用する支台築造材料の電子添文等にしたがって支台築造を行います。

使用方法E

下記用途での使用方法です。

5) 光重合型の歯科用支台築造材料による支台築造

本方法は確実に光照射を行うことができる被着面に対してのみ適用してください。

(1) 窩洞形成

通法にしたがって、根管形成、根管充填を行った後、築造窩洞を形成し、清掃、防湿を行います。その後、通法にし

たがい、ポストの植立を行います。

(2) ボンディング

本品を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で被着面(窩洞、ポスト)に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、マイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで被着面全体をしっかりと乾燥させます。エアブローの圧力は被着面の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

(3) 支台築造

支台築造材料の電子添文等にしたがって支台築造を行います。

使用方法F

下記用途での使用方法です。

6) セメント接着における窩洞、及び支台歯の処理

(1) 窩洞、支台歯(歯質、レジンコア、メタルコア)の調整

① 通法にしたがい仮封材及びテンボラリーセメントを除去します。防湿を行い窩洞、支台歯を清掃します。

② 窩洞、支台歯に補綴装置を試適します。

(2) 補綴装置の前処理

補綴装置の表面処理は「SA ルーティング® Multi」の電子添文等にしたがって処理してください。

(3) 窩洞、支台歯の表面処理

本品をアプリケーションブラシ等で窩洞又は支台歯表面に十分に塗布します。

塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、マイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで5秒間以上被着面全体を乾燥します。

(4) 補綴装置の接着

「SA ルーティング® Multi」の電子添文等にしたがって補綴装置の接着をします。

光照射により余剰セメントを除去する場合、ボンドの影響で光照射時間は短くなりますのでご注意ください。

使用方法G

下記用途での使用方法です。

7) 露出根面等(実質欠損を殆ど含まない症状)の処置

8) 知覚過敏の処置

(1) 患部の診察

知覚過敏による痛みであること、もしくは齶蝕の有無を確認後、必要に応じて感染象牙質を除去します。

(2) 窩洞形成、歯面清掃、防湿

通法にしたがい、必要に応じて窩洞形成、歯面を清掃、防湿します。患部の唾液、ブラークは綿球等で拭き取り、過剰に付着したブラーク、ステインは歯面研磨剤等で清掃します。

(3) ボンドの処理

本品を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で患部全体に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、弱～中圧のマイルドなエアブローにより、液面が動かなくなるまで5秒間以上塗布面全体を乾燥します。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがって、光照射を行い硬化させます。

(4) 仕上げ

本品のみで処置を完了させる場合

アルコール綿球等で本品の未重合層を確実に除去します。

コンポジットレジン塗布する場合

低粘度のコンポジットレジン歯質に薄く塗布し、歯科重合用光照射器にて光照射し硬化させた後、アルコール綿球等で未重合層を除去し、処置を完了します。低粘度のコンポジットレジンの使用法は、当該品の電子添文等にしたがってください。

使用方法H

下記用途での使用方法です。

9) 間接修復法の前処理としての窩洞又は支台歯のシーリング・コーティング

(1) 窩洞形成

齲蝕の有無を確認後、齲蝕検知液(例えば「カリエスディテクター」)等をガイドとしながら、感染象牙質を除去します。

通法にしたがい窩洞もしくは支台歯の形成、窩洞清掃、消毒を行います。

(2) 防湿、歯髄保護

窩洞もしくは支台歯の形成後、通法にしたがい防湿を行います。露髄部分や歯髄に著しく近接した場合には、ユージノールを含まない覆罩材又は歯髄保護材で歯髄保護を行います。

(被着面に未切削エナメル質を含む場合は、未切削エナメル質面をリン酸エッチング材の電子添文等にしたがって、10秒間処理後、水洗、乾燥してください。また、本品は切削エナメル質に対して十分な接着力を有しますが、切削エナメル質面に対しても同様の処理が可能です。)

(3) 歯面シーリング・コーティング

本品を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で窩洞もしくは支台歯の壁面全体に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで窩洞もしくは支台歯全体を乾燥します。エアブローの圧力は窩洞もしくは支台歯の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「歯科重合用光照射器について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

本品のみで処置を完了させる場合

アルコール綿球等で本品の未重合層を確実に除去し、処置を完了します。

コンボジットレジンに塗布する場合

低粘度のコンボジットレジンに歯質に薄く塗布し、歯科重合用光照射器にて光照射し硬化した後、アルコール綿球等で未重合層を除去し、処置を完了します。低粘度のコンボジットレジンの使用法は、当該品の電子添文等にしたがってください。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- ① 混和皿へ採取した後は、遮光板で周囲からの光を遮断し、下記の時間以内に使用すること。
揮発性の溶媒(エタノール)を含んでいるため、溶媒が揮発すると本品の粘度が上昇し塗布しにくくなります。

材 料	操作余裕時間
本 品	7分
本品と「クリアフィル® DCアクティベーター」の混和液	90秒

- ② 「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」以外のデュアルキュア型/セルフキュア型の支台築造材料を使用する際は、本品と「クリアフィル® DCアクティベーター」を一滴ずつ等量混和して使用すること。なお、混和液に対し、光照射しない場合、操作時間が短くなります。

- ③ 本品、及び混和液の被着面への塗布時、及び処理時に、デンタルライトの光が当たると光硬化(ゲル化)する場合がありますので、口腔内へのデンタルライトの角度や距離を調整するなど光量を下げる回避処置を行うこと。

- ④ 本品、及び混和液は成分として水、エタノールを含有しています。乾燥が不十分だと接着強さが低下します。そのため、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで被着面全体をしっかりと乾燥させてください。エアブローは被着面の形状及び大きさに応じて圧力を適切に調整し、隅角部の液だまりに注意しながら、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。

- ⑤ 本品による処理前又は処理中に、被着面が唾液や血液等により汚染されないように保持すること。唾液、血液等で処理面が汚染された場合は、その部位に水洗、乾燥、又は清掃材(例えば「カタナ® クリーナー」)又はアルコールで清掃を

行った上、再度処理すること。処理面が汚染されると接着強さが低下する場合があります。

- ⑥ 本品のみで窩洞もしくは支台歯のシーリング・コーティングを行い処置を完了させた後に、レジン系の仮封材、仮着材を用いる場合は、コーティング面に接着する恐れがありますので、必ず歯科用分離材をご使用ください。歯科用分離材の使用法は、当該品の電子添文等にしたがってください。

- ⑦ 冷蔵庫に保管する場合、冷蔵庫から取り出した後、室温で15分以上経過してから使用すること。室温に戻る前に使用すると、採取時に必要以上の液が落下したり、液が湧き出すことがあります。液が湧き出した場合、ガーゼ等で拭き取ってからご使用ください。

- ⑧ 揮発性の溶媒(エタノール)を含んでいるため、揮発成分が蒸散し、ノズルに詰まりが生じる場合があるので、使用後は速やかに且つ確実にキャップを閉めること。なお、ノズルに詰まりが発生した場合は無理に押し出さず、すぐに使用を中止すること。

- ⑨ 長期間使用しなかった時に液が出にくく感じる場合は、容器を振ってから採取すること。

光照射に関する使用上の注意

・照射口はできるだけ修復部位に近接させて、修復部位に垂直に保持し、照射すること。また、硬化させる面積が歯科重合用光照射器の口径より大きい場合には、何ヶ所かに区分して分割照射を行うこと。

【使用上の注意】

(1) 使用注意

- ① 本品、及び混和液を誤飲させないように注意すること。
② 本品、及び混和液は可燃性物質であるエタノールを含むため、火気の近くで使用しないこと。
③ 必要に応じて窩洞形成前にラバーダム等の防湿処置を行うこと。
④ 窩洞形成時に、露髄又は歯髄に近接した場合には、覆罩等の処置を行うこと。
⑤ 歯髄保護及び仮封には、ユージノール系の材料は使用しないこと。
⑥ 窩洞清掃が不十分な場合、接着材の接着強さが低下する恐れがあるので、十分清掃すること。
⑦ 硫酸鉄配合の止血剤を使用するとマージン部が褐色に変色することがあるため併用しないこと。
⑧ 塩化アルミニウム配合の止血剤を使用する場合は、最小限の使用に留め、被着面には触れないように注意すること。塩化アルミニウム配合の止血剤が被着面に触れると接着強さが低下する場合があります。
⑨ 「クリアフィル® DCアクティベーター」、「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」以外の材料と混和して使用しないこと。
⑩ 交差感染防止の為、採取した液及びアプリケーションブラシは患者間で交差使用しないこと。アプリケーションブラシは使用後は廃棄すること。

(2) 重要な基本的注意

- ① 本品、及び混和液の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。
② 本品に対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本品に触れないようにすること。また、本品、及び混和液の使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し、専門医の診断を受けること。
③ 本品、及び混和液が口腔軟組織や皮膚に付着することがないよう、また目に入らないように注意すること。口腔軟組織、皮膚に付着した場合には、アルコール綿球等で拭き取り、多量の水で洗浄すること。また、目に入った場合には、ただちに多量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。

- ④本品、及び混和液が付着した粘膜面は若干白くなること
がありますが、モノマーの蛋白凝固作用による上皮組織
への一過性の現象です。白化は数日で消失します。患者
に対しては、ブラッシングなどで白化した部位に刺激を
与えないよう説明してください。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕

- ・本品は、2～25℃で保管し、直射日光、デンタルライト等の
強い光が当たる場所や火気の近くに保管しないこと。

〔使用期限〕

- ・製造日から27ヶ月。
- ・本品は包装に記載の※使用期限までに使用すること。

※(例  2025-12-31 は使用期限2025年12月31日 を示す。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

フリーダイヤル：0120-330922

販売元：

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL (06) 6380-2525

〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL (03) 3834-6161

「クリアフィル」、「MDP」、「マジェスティ」、「SA ルーティング」、「フォトコア」及
び「オートミックス」は株式会社クラレの登録商標です。

「カタナ」は株式会社ノリタケカンパニーリミテドの登録商標です。